

時代に挑戦する注目企業100社に紹介されました

「時代に挑戦する注目企業100社」に紹介記事が掲載されました。



エーエルティー株式会社

<http://www.alt.co.jp>

Info@alt.co.jp

エーエルティー株

「アジア戦略と技術力で測れないものを測る」



社長 高野 卓
高野 卓

昭和二十六年三月二十四日生まれ、東京都出身、平成四年八月会社設立と同時に社長就任、専攻「オーティス」

中国の台頭、韓国の躍進、日本の回復……。今、東アジアを中心に経済社会が躍動感に溢れている。

中でもハイテク分野においては、ボーダレスな取り組みが企業を成長させるカギとなる時代といっても過言ではない。今後日本の製造業が世界と対等に渡り合うためには、海外戦略に尻込みしない企業意識と、それを支える確かな技術力が重要となってくる。

その技術は平成四年創業のレーザー応用、特にレーザーキャノンに挑戦するビジネスを展開するエーエルティー株式会社に基づいている。

応用レーザー製品を主にメーカー向けに供給している同社は、日本の大手のみならず海外からの引き合いも多い。中でも韓国サムスン電子との繋がりは深

く、レーザープリンタの検査システムでは二十四システム納入という実績がある。

「韓国は日本と地理的にも近い上に国民も熱心で温かく、ビジネスには申し分ない。アジアで広くビジネスを根付かせるのも我々にとっては重要」

（高野社長）

レーザープリンタの開発機種は多く、基礎開発から関わっている機種もある。

「新製品出荷に際しては、必ず検査機のチェックを経なければなりません。製品それぞれにスペック（規格）がある中で、無理を可能にしなければならぬのです」

（高野社長）
自社開発の「高速走査位置計測システム」は、毎分五万回転（二キロメートル/秒）するポリゴンス

キャノンの面倒れ量を通算して計測するもの。肉眼では決して捉えることのできない傾きをも測定する精巧さを誇る。

また新開発の「ダイナミックビーム径計測システム」は、走査しているレーザービームのビーム径を計測する。高回転での空気抵抗や高出力モータの発熱によるビーム径への影響を測定でき、これによりLSI完成状態でのビーム径計測が可能になった。

昨今導入された三次元計測で応用分野のアプリケーションも広がりを見せる。例えば鉄道分野では、新潟県中越地震でダメージを受けたトンネルの検査に関して、同社のスキャンシステムが使用されている。一方、歯科医療の分野では、歯のつめものとしてチタンを採用する動きが進んでいるが、その型を決定する上で同社のスキャン技術が採用された案件もある。

「測れないものを測る」という言葉は技術開発の側面のみならず、時間やコストの削減という側面もあります。それらの側面を総合的にクリアすること

が大切」（高野社長）

同社は平成十六年十二月にISO9001を認証取得。会社としての情報の共有化、社員一人ひとりの開発力を集約させるための書面づくりが完成した。

このことにより、自社内で開発から製造までを一貫して手がける体制とあいまって、納期の短縮、スピードアップにも繋がりが、なおかつ製造・開発コストの削減が可能になったわけだ。エーエルティーの名がより鮮明に応用レーザーの世界に刻まれていく。

会社データ

本社住所 東京都練馬区豊島一丁目一〇
TEL 03-3581-7111
FAX 03-3581-7112
E-MAIL info@aet.co.jp
設立 平成四年八月
資本金 一億五千万円
売上高 三億五千万円
従業員 五十名
※本誌取材時、その周辺機器のハードウェア、ソフトウェアの開発、製作、販売